**横浜市域における地域日本語教育の総合的な体制づくりに係る実態調査**

**Ⅰ 貴校の概要**について

**問 1 貴校の概要**を教えてください。（具体的に記入してください。）

|  |  |
| --- | --- |
| 学校名 |  |
| 組織名 |  |
| 学校種（いくつでも） | □日本語学校（法務省告示校） □専門学校（専修課程）□大学 □大学院 □その他語学学校等 |
| 横浜市での開校時期 | 西暦 | 年 | 月 |
| 教育理念や学校の特徴等 |  |

# ご回答者様

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部署 |  | お名前 |  |
| TEL |  | e-mail |  |

**Ⅱ 学習者（学生）について**

**問 2 貴校で日本語を学ぶ学習者数＊**についておたずねします。(概数で結構です)

＊専門学校専修課程、大学においては在籍留学生数を含む

①**出身の国・地域名**を、多い順に 3 位まであげてください。

位

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1位 |  | 2位 |  | 3 |

②年代別の人数について教えてください。（2024 年 7 月 1 日現在）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 18歳未満 |  | 人 | 30～39歳 |  | 人 | 50～59歳 |  | 人 |
| 18～29歳 |  | 人 | 40～49歳 |  | 人 | 60歳以上 |  | 人 |

③現在、貴校で学んでいる人（学生）は、どんな人たちですか。（いくつでも）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □語学留学生 | □語学留学以外の学生 | □就職準備中の人 |
| □就業者 | □就業者の配偶者 | □その他（ |

）

④今年度の新入生の数を、日本語能力別に教えてください。（貴校の基準または JLPT を参考に）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 入門レベル |  | 人 | 上級レベル |  | 人 |
| 初級～中級レベル |  | 人 | レベル不明 |  | 人 |

⑤学習者の**日本語学習の目的・目標**は、主に何でしょうか。（いくつでも）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □日本語能力試験対策 | □資格取得対策 | □就学･入試対策 |
| □学校授業の一環（必修） | □学校授業の一環（選択） | □学校の補習 |
| □職業上の必要 | □生活上の必要 |  |
| □その他（ | ） |  |

⑥**卒業後の主な進路**について教えてください。（いくつでも）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □小中学校に進学・編入➡（□主に横浜市内 | □横浜市内とは限らない） |  |
| □高校に進学 ➡（□主に横浜市内 | □横浜市内とは限らない） |  |
| □大学・専門学校に進学➡（□主に国内 | □国内とは限らない） |  |
| □企業に就職・転職 ➡（□主に国内□その他（ | □国内とは限らない） | ） |

⑦現在、日本での就職で多い主な業種・職種を教え 3 つまであげてください

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1位 |  | 2位 |  | 3 |

位

⑧コロナ禍以前の状況とも比較して、学習者の最近 5 年程度の**増減傾向**を教えてください。（1 つ）

□増えた □少し増えた □ほぼ横ばい

□少し減った □減った

学習者の属性（出身国・地域、年代、日本語レベル等）の傾向変化についてご記述ください。

**Ⅲ 日本語教育の内容や学習者の支援内容について**

**問 3** 貴校での**学習の方法や内容**についておたずねします。

①日本語教育で重視していることは何でしょうか。（いくつでも）

□「正しい」日本語の習得（文法等） □通じる（実用的な）日本語力の習得

□学校への入学・編入・進学対策 □就職対策

□日本語能力試験対策 □それ以外の資格取得対策

□仕事をする上で必要な日本語力の習得 □生活する上で必要な日本語力の習得

□日本の社会や文化の理解支援 □個々の目的・目標に合わせた学習支援

□日本語教師の育成 □その他（ ）

②主な**学習形態**について教えてください。（いくつでも）

□マンツーマン（対面） □マンツーマン（オンライン）

□少人数のグループレッスン（対面） □少人数のグループレッスン（オンライン）

□講義形式（対面） □講義形式（オンライン）

□その他（ ）

③**オンライン学習**への取り組みについて教えてください。（いくつでも）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □オンラインコースを設けている | □リモート受講もできる（リアルタイム） |  |
| □講義の録画視聴ができる（オンデマンド） | □教師に任せている |  |
| □デバイスを貸与している | □その他（ | ） |

**問 4 日本語教育以外で行っている事業・活動**についておたずねします。

①**日本語学習以外で行っている支援**はありますか。（いくつでも）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| □翻訳・通訳サービス | □就学相談 | □就職相談・就活支援 |  |
| □諸手続きのサポート | □学生寮の運営 | □住まいの斡旋や家賃補助 |  |
| □生活ガイダンス | □その他（ |  | ） |

②**校外との交流活動**として行っていることはありますか。（いくつでも）

□学習体験者の受入 □実習やインターンシップの受入

□社会人講座や一般向け研修会等の実施

□文化祭や地域交流イベント □地域イベントへの参加

□日本語教育に関するアドバイス □その他（ ）

③学習者から、**日本語学習以外の悩みや困りごと**の相談はありますか。（いくつでも）

□経済的なこと □進学 □仕事（就職・転職・労働条件）

□職場や学校の人間関係 □家族や友だちとの関係 □ＤＶ

□メンタルヘルス □医療・病院 □住宅（住まい探し・居住環境）

□防犯・防災 □税金・年金 □家族の養育・介護

□子育て・子どもの教育 □在留資格 □差別

□日本の制度や習慣 □孤独・孤立 □仕事以外の社会参加

□相談はない・受けない □その他（ ）

**問 5 学校運営上の問題・課題**についておたずねします。

①貴校の主な課題は何ですか。（いくつでも）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □入校希望者の減少（定員割れ等） | □入校希望者の超過（希望に応えられない） |  |
| □学習者の日本語レベルの多様化 | □学習ニーズの変化への対応 |  |
| □新たな教育課程への対応 | □卒業後の進路開拓 |  |
| □卒業後の学習フォロー | □教師の不足 |  |
| □教師の資質・能力の向上 | □学習以外の相談への対応 |  |
| □経営継続の困難 | □特に困っていることはない |  |
| □その他（ |  | ） |

②課題解決に向けた取り組みについて教えてください。

 **Ⅳ 横浜市域で**

**問 6** 横浜市域での**地域日本語教育との関わり**についておたずねします。

①貴校では、学習者に**市内の地域日本語教室を紹介**することはありますか。（1 つ）

□紹介している □教室の情報提供はする □特に紹介はしていない

②貴校の学習者や卒業生で、**市内の地域日本語教室で学んでいる人**はいますか。（1 つ）

□いる（教室名等： ）

□いない □わからない・把握していない

③現在、貴校の学習者や卒業生で、**市内の地域日本語教室で教えている人**はいますか。（1 つ）

□いる（教室名等： ）

□いない □わからない・把握していない

④「よこはま日本語学習支援センター（YNC）」は、地域日本語教育に関する情報提供、相談対応、連携ネットワーク形成等に取り組んでいます。利用したことはありますか。（1 つ）

□連絡や相談をしたことがある □知っているが、今までは特に関わりがない

□名前は聞いたことがある（事業内容は知らない） □知らなかった

**問 7 外部との連絡・連携**についておたずねします。

①現在、日本語教育や学習者の支援で、**連絡・連携している先**はありますか。（いくつでも）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □他の日本語学校 | □地域日本語教室 | □日本語教師養成機関 |
| □学校（小・中・高） | □業界団体・企業 | □外国人団体 |

□国際交流ラウンジ □横浜市国際交流協会（YOKE）

□よこはま日本語学習支援センター（YNC） □国や県の機関

□区役所・市役所 □社会福祉協議会 □民間支援団体

□特にない □その他（ ）

② ①のうち、市内で**特によく連携している先**を 3 つまであげて、連携の内容をご記入ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 名称（①の分野名か団体名） | 連携の内容 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

③今後、**もっと連携したい先**はありますか？ 連携先や連携の具体的な内容を教えてください。

**問８ 横浜市域における地域日本語教育のあり方**について、貴校のお考えを教えてください。

① 地域日本語教育における**日本語教育機関の役割**

# ②地域日本語教室の役割（期待）

③**横浜市や横浜市国際交流協会（YOKE）への期待**

④貴校として、**地域日本語教育・教室と連携・協力**できることはありますか。（いくつでも）

□生活者向け日本語教室の開催

□地域日本語教室への日本語教師／講師の派遣

□企業への日本語教師／講師の派遣

□日本語学習支援者向け研修等の開催

□日本語学習支援者等向け研修への講師の派遣

□教材や教育プログラムの開発

□学習者を支援する体制（ネットワーク）への参加

□できることはない

□何ができるかわからない

□その他（ ）

**問 9 横浜市域における地域日本語教育、これを通じた多文化共生のまちづくりに向けて**期待することやご提案がありましたら、自由に記入してください。

**ご協力、誠にありがとうございました。**